

AJU 愛光園だより

～私たちは、誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざします～

発行者：社会福祉法人 愛光園
本部事務局 愛知県知多郡東浦町緒川東米田33番3
TEL 0562-83-9835 FAX 0562-83-4344
URL <http://www.aikouen.jp/> E-mail honbu@aikouen.jp

第111号

* ~愛光園は移転改築しました~ 共和の丘の上からひかひかのさへ*



正式名称：障がい者活動センター 愛光園
敷地面積：5365.58㎡
延べ床面積：796.81㎡
構造：鉄骨造り 1階建て
利用定員：障害福祉サービス事業（生活介護）30名
重症心身障害児（者）通園事業B型 5名

正面玄関を歩いてエントランスホール正面には
光の切り絵作家 酒井敦美さんの作品がお出迎え
仲間たちの作品も仲良く展示できるスペースも・・・
左手には、ボランティア室と事務室が並んでいて
にっこり中の様子を見に来て、そのまま一休みもOK



建物中央に広ーい多目的ホールを配して
みんなが集えるスペースをメインに
明るく透明感のある建物に仕上げさせていただきました
暖かみのある木質材がたくさん使われています
洗面台が5つもできて、食事前の手洗い渋滞は解消！

トイレも広々と、いろんなスタイルの使い方に、対応可能です
床に直接マットを敷いていた旧園舎に比べ、今はアウトレット
の診察台を活用して臥位姿勢の用足しも快適に・・・
介助の負担軽減にも繋がっています



待望の特殊浴槽も設置されました
浴室用の車椅子に乗れば
あとはお湯の中に自動で運んでくれます
ストレッチャータイプの移動式浴槽も届いて
快適バスライフ実現の第一歩を踏み出しました！

5月20日から新園舎における活動を開始して、1ヶ月余りが経過しました。

引越しでは、法人・ひかりのさと関係者のみなさんに一方ならぬお世話になり、本当にありがとうございました。おかげさまで、予定よりもかなり早いスピードで引越しを無事完了することができました。

竣工式も多くの方にご出席いただき、愛光園らしいほのぼのとした集いとなりました。あらためて、こんなにたくさんの方たちに支えられて自分たちの毎日があることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

障がい者活動センター愛光園は、様々な障がいを持った方たちの活動拠点として、これからも多くの方に利用していただければと思います。

新園舎は、機能的にもかなり向上し居住性・安全性も高まりました。園内での活動展開も今後広がりを見せていくことと思いますが、今までもそうであったように、本体施設は様々な企てをみんなで話し合ったり、準備を進めたり、疲れた時にほっと休める場所として活用し、やはり基本は地域に目を向けた活動を主としていきたいと考えています。これからも、仲間が地域で豊かに暮らし続けるための仕組みづくりの一翼を担う発信基地でありたいと思うのです。

さらに、愛光園がこひかりのさとに移転してきたことの意義は、愛光園単体に留まることなく、隣接する法人他事業所にとってもプラスになることを願っています。それは、共同できるプログラムの開発や、それぞれの得意分野を生かした役割分担の実現として法人マスタープランにも掲げてありますが、係わりが法人内だけで完結することなく、できるだけ広範な人々との繋がりに結びついていける活動展開であるよう常に意識を持ち続けたいと考えています。

重い障がいがあっても、その人らしく精一杯光り輝く仲間たちと、その輝きを認め、惜しみなく協力してくださる方々の力でここまでたどり着けた幸せをかみしめつつも、歩みを止めることなく更なるステップアップを目指して行きたいと思います。

梅雨なのに爽やかな風が吹いているひかりのさとの丘から・・・

障害福祉サービス事業所 障がい者活動センター愛光園 所長 多田 真

建設特別会計 事業報告・決算報告

昨年度から継続しておりました『愛光園移転特別会計』、『おあしすⅡ建設特別会計』の工事を完了することができましたのでご報告致します。尚、自己資金とありますのはほとんどが皆様からのご寄付によるものです。多くのご支援・ご協力をいただき建設することができました。心より感謝致しております。

『障がい者活動センター愛光園』
 定員 30名（生活介護） 5名（重心B型）
 延べ床面積 796.81㎡
 構造 鉄骨造り 1階建て
 決算書

『仲間の家』
 定員 4名
 延べ床面積 126.66㎡
 構造 木造 1階建て
 決算書

収入の部	
国庫補助金	54,019千円
県費補助金	27,011千円
借入金	75,000千円
自己資金	54,053千円
合計	210,083千円
支出の部	
施設整備費	184,869千円
設備整備費	5,788千円
解体撤去工事費	8,042千円
設計監理費	8,608千円
諸費用	2,776千円
合計	210,083千円

収入の部	
大府市補助金	2,060千円
寄附金	15,001千円
自己資金	16,993千円
合計	34,054千円
支出の部	
施設整備費	32,111千円
設計監理費	1,800千円
諸費用	143千円
合計	34,054千円

愛光園竣工式



平成20年5月21日
障がい者活動センター
愛光園のホールにて竣工
式が行われました。

竣工式に先立ち、
神事を執り行い、



式典には来賓・工事関係者・法人愛光園関係者・
利用者とそのご家族など約100名の方々に出席
していただきました。



式典が始まり、理事長より、加藤建築
事務所と矢野建設へ感謝状が贈呈され



来賓の方より祝辞を
いただき



多田事業所長より、これ
までの工事の経過報告と
施設設備について報告が
ありました。



長年ボランティアとして関わってくださった、石
塚さんと都築さんよりピアノ演奏と独唱があり、
ホール全体が暖かい雰
囲気に包まれました。



利用者代表とし
て、新しくなった園
を見ての感想やこれ
から意気込みを語り、



皿井相談役の謝辞をもって式を終わりました。

平成19年(2007年)度事業報告

平成19年度も、理念の下、基本方針にそって活動しました。

理念 私たちは、誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざします。

1. 私たちは、誰もが、まず「人として」受けとめられ、地域の中で自分らしく暮らすための支援サービスを提供します。
2. 私たちは、誰もが、必要なときに、必要な支援サービスを利用できるように取り組みます。
3. 私たちは、誰もが、安心して暮らすために、地域の輪の中で、「共に生きる」実践と運動を進めます。

基本方針 障害者自立支援法における新事業体系について、2008年度移行への準備を行う

法人の重点課題については、6ページに内容と評価を記載しました。

重点課題は大きく3部門に分かれています。「愛光園移転と新事業体系に対応した組織プログラムの再編」の内、「愛光園移転の円滑な実施」については、建築基準法の改正の影響で着工が遅れましたが、5月に完成し、解体工事も6月に終わりました。ただ愛光園跡地の利用について決定していませんので△としました。「生活介護・就労移行事業のプログラム内容の確定およびその実施体制整備」は、愛光園が東浦の他事業所の近くに移転してくるのでプログラムを共有化できないか検討しました。愛光園の引っ越しで落ち着いていないので、夏以降、ひかりのさとファーム、まどか、ひかりのさとのぞみの家とプログラム共有を試行していきます。また、今年の4月からひかりのさとファームが新事業へ移行し、生活介護事業と就労移行事業を行うので、具体的な就労移行プログラムを検討しました。これは4月から実施しています。「食事サービスセンター案の策定」は、食事の提供の合理化をしつつ質の維持を図るため検討をしてみました。人の確保や財政面が大きな課題で、昨年度中には案ができず△。今年度具体化する予定です。「障害ケアマネジメントシステムの構築」は、介護保険ではケアマネジメントが位置づけられ、その人全体の生き

方を支援する計画を立て、その計画を元に各事業所などが支援を行う仕組みとなっていますが、障がいではそのようなシステムはできていません。しかし、ケアマネジメントは必要ですので、委託相談事業を行っているところが中心になってケアマネジメントをして、各事業所がサービスを提供する仕組みを検討しましたが、現実的には相談事業は相談だけで手一杯で、難しい状況です。したがって×としました。アセスメント表は、これまでそれぞれの事業所でアセスメントを行っていて、受ける方も何度も同じようなことを聞かれて負担であろうと思われるので共通様式を作りました。今後はお互いに負担の無いようにしていきたいと思います。「地域移行プログラムの策定とグループホーム・ケアホームの新設・移転」は、ケアホーム新築も愛光園と同じく、建築確認に時間がかかり遅れましたが、ようやく完成し6月30日にお披露目会を行いました。地域生活移行のプログラムについては、個別の状況が異なるので、一般的なプログラムはなかなか難しいです。引き続き地域生活移行を支援することでケースを重ね、ノウハウを蓄積していきたいと思います。「自立支援協議会・地域密着型サービス運営推進会議の円滑な実施」は、知多北部では、制度発足当初から行政や関係機関・事業所と連携して実施できました。従って○。

重点課題の2番目の「人材確保と福祉従事者としての専門性の向上」で、人材確保は表の通りの状況です。福祉人材・介護人材の確保は非常に大きな問題で、1法人1事業所ではとても対応できません。介護福祉士の養成校自体に学生が集まらず、大学で福祉を専攻した人も企業に就職してしまいます。福祉は魅力のある仕事なのですが、よいイメージをもたれていないようです。国は日本の将来のために是非対策を充実させてほしいものです。今年も重点課題として取り組みます。「職能要件書の



新入職員研修会

作成」は、人材育成のためのものです。「先輩の背中を見て育て」ではなく、基準を示し、それにはこの部分ではできているね、この部分は足りないねと評価し、育成していくようにします。職能要件書はその基準となるもので、介護職・支援員の分は概ねできました。基準ができるとそれに基づき考課していきますが、それが能力考課となります。昨年度試行する予定だったものの、要件書の作成が遅れていたため1年遅らせました。今年度能力考課を試行し、そのための考課者研修も行ないません。OJT、すなわち職務を通じての研修も仕組みとして行なっていく予定です。職能要件書はほぼできたので△。「職員への人権アンケートの実施及び指針の作成」は、愛光園は障がいの重い方の人権をいかに守るかが使命なので法人として最も大切なところ。人権擁護委員会を設け、月に一回部会を開いて取り組んでいます。職員の人権擁護のアンケートは、事例を挙げ人権侵害にあたるかどうかの考えを聞き、その上で事業所の考えを示すことで職員の人権意識の向上を図りました。指針については作成するかどうかを含めて検討します。「医療ニーズへの指針の策定」は、医療ニーズは障がいでも高齢でも高くなっており、診療所の検討を長年しています。しかし、一般の病院でも医療職の確保が難しい状況で、どうしたらよいか入口のところをつまづいてしまっています。



体力もいります

3番目の「財政基盤の整備」は、3か月分4億円の運転資金の確保を目標としました。決算上では5億円の資金収支差額でしたが、その内実は9000万円の借入金や愛光園移転が年度をまたいだので預金がたまたま残っていることによるためであり、実質的にはマイナスです。

理事会・評議員会では、できないのにこんなにたくさん課題を挙げる必要があるのかという意見もいただきました。やりたいこととやれることは違うので、今後整理していきます。

右段の資料は、各種データを表にしたものです。勤続年数や平均勤続年数などは、平均すると表の通りですが、事業所により偏りもあり、障がいの相談事業の平均勤続年数20年8ヶ月、年齢46歳弱のところもあれば、ホームヘルプの勤続年数4年弱、年齢29歳のところ

るもあります。非常勤は、平均年齢40代の事業所が多いのですが、ホームヘルプでは30代前半です。事業内容により職員像が異なっています。退職者比率は、退職者数を職員数で除したものです。経営協の平均では13%余りなので、愛光園はやや低いといえます。新入職員の定着率(年度内採用者で年度末に在籍している者の割合)は75%で、逆に見れば4人に1人は1年以内に退職していることとなります。合う合わないはありますが、せっかく御縁のあった方には長く勤めていただきたいです。人件費比率は、全国平均では施設系で60%前後、訪問系は85%前後で、愛光園は高い傾向があります。経常収支差額率は、企業でいうところの利益率です。全国平均が7から8%。上回っているところもあればマイナスになってしまっているところもあり、全体では2%です。現預金保有率は総資産に占める現預金の割合で、支払余力を示します。11ページの決算の貸借対照表のとおり現預金は随分増えてはきましたが、減価償却累計額と設備投資予定額の合計額を越えているのが望ましいといわれますが、減価償却累計額は14億円なので全然足りません。ボランティア数は非常に多くの方が関わってくださっており、ありがたいです。



ボランティアをボランティアがおもてなし(愛光園竣工式にて)

各事業所の事業報告などは、各事業所の事務所やホームページで公開していますのでご覧ください。

項目	正規	非常勤
平均勤続年数	7年2ヶ月	4年9ヶ月
平均年齢	35歳7ヶ月	44歳0ヶ月
	直接処遇	その他
常勤換算職員数	155.05人	23.42人
非常勤職員	102.06人	15.92人
退職者比率	11.89%	
新入職員定着率	75%	
人件費比率	69.76%	
経常収支差額率	2.03%	
現預金保有率	14.99%	
ボランティア数	7,519人	
実習生受入人数	282人	

平成19年度重点課題と目⑥・③価

重点課題	目標	評価	
愛光園移転と新事業体系に対応した組織・プログラムの再編	愛光園移転の円滑な実施	△	建築基準法改正の影響で遅れたが、5月完成。解体工事も6月完了。 跡地の扱いについて、区画整理組合との交渉の結論がついていない。今年度引き続き検討交渉していく。
	生活介護・就労移行事業のプログラム内容の確定およびその実施体制整備	△	各プロジェクトで検討された。具体的実施体制の整備までは未策定。愛光園が東浦に移転してきたところで下半期に向け具体的検討を行う。
	食事サービスセンター案の策定	△	平成21年度実施に向け検討を進めた。しかし人事・資金について、19年度中に見通しを示せなかった。20年度下半期から具体的に動き出せるよう準備を行う。
	障害ケアマネジメントシステムの構築	×	制度上難しい(制度上ケアマネジメントの対象者が非常に絞られており、他の資源では対応しきれない)。サービス管理の手法についての検討を今年度行う。 アセスメント表はできた
	地域移行プログラムの策定とグループホーム・ケアホームの新設・移転	△	ケアホームは1棟着手 6月完成 地域移行プログラムの策定は、できなかった。個別ケースの検討を通じて引き続き検討していく。
	障害者地域自立支援協議会・地域密着型サービス運営推進会議の円滑な実施	○	先進的に取り組みを行えた。
人材確保と福祉従事者としての専門性の向上	人材確保(介護職・支援員等20名/看護職等5名 非常勤職員のタイムリーな確保)	×	介護職・支援員の採用16名(内4名サブワーカーから雇用形態の変更) 作業療法士1 看護師の昨年度4月1日以降の採用者は正規2名非常勤5名だが、その内年度末在籍者は非常勤2名のみ 直接支援の非常勤職員の確保は非常に困難であった。 人材確保について今年度も重点課題として取り組む。
	職能要件書の作成(≒キャリアプランの作成)と能力考課の試行	△	介護・支援の職員職能要件書の策定はおおよそできた。しかしキャリアプランとはいえない。 能力考課の試行は1年遅らせ、今年度実施する。キャリアプランや育成システムの検討も含めて人事システムの検討を引き続き行う。
	職員への人権アンケートの実施及び指針の作成	△	アンケートは実施し、人権意識の啓発につながった 指針の作成については、事業所で実施したアンケートへの事業所の考え方として示した。法人全体としての指針策定は、その策定を行うかを含めて今後の課題。
	医療ニーズへの対応への指針の策定	×	全くできなかった。医療職の確保も難しい中で、具体的な検討に踏み込めなかった。中期的視点で検討を行う。
財整備 財基盤の	3カ月分(4億円)の運転資金の確保	×	数字上は3カ月分となっているが、実質は長期短期の借入金によっている。長期運営資金を除いた3カ月分の運転資金の確保を次期中期経営計画に盛り込んで取り組む。

苦情解決報告

平成19年度（平成18年3月1日～平成20年2月29日）の苦情の状況を報告します。
年度別件数は以下の通りです。

年度別件数	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
ひかりのさとのおもいの家	7	2	5	12	10	9	5
まどか			1	1	3	4	4
愛光園		1		2	3	1	1
グループホーム	3			2		3	
ひかりのさとファーム		1		1	2		1
相生	4	7	2		7	3	3
らいふ				2		1	1
通所リハビリ・こぶし		1	6	7	10	7	13
ヘルパーステーション				2			3
もくせいの家					1		
おひさま					1		
合計	14	12	14	29	37	28	31

- 19年度は苦情解決第三者委員に3人加わっていただきました。第三者委員には、苦情が発生して第三者委員に訴えたいという希望が生じたときだけでなく、担当事業所を決めて定期的に来ていただき、利用者や職員と懇談の時間をとっていただくようにしています。3年前から取り組みをはじめ、徐々に定着してきています。特にひかりのさとのおもいの家やひかりのさとファームは毎月のように来ていただき、助言を頂戴したり、利用者との交流を深めていただいています。今回の訪問を楽しみにされている利用者の方もいらっしゃいます。まどかも利用者からの聞き取り調査に加わっていただきました。逆に愛光園では、担当をお願いしていました委員の方が辞任され、その後任が見つかりません。もっと多くの方に第三者委員になっていただき、より関わりを深めていただくようにしたいと思います。
- 受付件数は昨年度とほぼ同じです。どこまで「苦情」として取り上げるかで件数は大きく変わります。苦情解決制度が取り入れられた最初はとまどいもありましたが、利用者の声として取り上げ、しっかり対処していくことで職員側の受け止めはできるようになってきました。一方で、過度な要望と思われることもあります。できないことはできないとお伝えしていきます。
- 不用意な発言やなれ合いによる職員の態度によるものも多いです。職員の意識改革や、教育・チェックなどを行っていく必要があります。これまでも悪質な事例には懲戒処分を行ってきましたが、今後も厳正な対処をしていきます。
- こぶし・通所リハビリは家族との接点が多いため、忘れ物や送迎時間のミスなど、ご家族からの苦情が出やすいと思われます。入所のひかりのさとのおもいの家やまどか・相生も、ショートステイ利用に関する苦情の割合が多いです。ショートステイは普段接する機会が少ないだけにより気を引き締めて支援をしていきます。
- 通所時のおやつ持参など、ご利用のルールが守られていないことが原因の苦情もありました。繰り返しご利用の案内をさせていただく必要を感じました。
- 知的障がいや認知症の方は自分で「苦情」として訴えることはしにくいので、これらの方の訴えをどう受け止めていくか職員・事業所の姿勢が問われます。
- 「苦情」と聞くと語感はいか悪くありませんが、利用者の声として受け止め、支援やサービス向上に資していきたいと思っておりますので、苦情をどしどしというのは変ですが、気のつかれたことをご遠慮なくお聞かせください。



**ひかりのさとファームでの月1回の
第三者委員との交流会**

平成19年(2007年)度決算報告

決算書は9ページから11ページのとおりです。これで終わってしまうと分かりにくいと思いますので解説ですが、更に分かりにくいかもしれません・・・。

9ページの資金収支計算書は資金の動きです。当期資金収支差額は1億6800万円のプラスですが、建設資金や運転資金の借入があるので、事業による実質は1100万円だけです。

本業の経常収支では事業所によって状況は異なります。昨年度と比べ、介護保険関係は収入が4600万円の減収で、自立支援費収入は2600万円の増収となりました。減収に対しては、専門職を確保し通所リハビリの利用率を上げたり、入所の長期利用者の割合を高めるなど利用率を安定させる取り組みをします。事業収入は4000万円の増収。相談支援事業や地域活動センターが18年10月からだったので18年度は半年で、19年度は1年分となりました。支出は人件費が5000万円の増加で、障がいの事業では、新事業への移行で収入が増えましたがその分人員配置も求められています。相談と活動センターも前述のとおり1年となり、人件費も増加しました。逆に減少した事業所もあり、異動や退職、産休、療養休暇などで人員が減っても職員の補充ができませんでした。事業報告でも記しましたが、人員確保は大きな課題で、求人は地道に行っていきます。

余談になりますが、厚生労働省は平成19年度の経営実態調査を行っています。福祉人材難は全国で起こっていますが、欲しい人材が確保できず、結果的に人件費が減って、だから報酬単価は上げなくてよいなんて議論にならないよう願っています。

就労支援事業は、収入が毎年漸減してきています。売上が仲間の給料になり生活費になりますので、みなさまの協力をお願い致します。

施設整備の収支は、例年自動車の購入が主だったのですが、平成19年度は愛光園とグループホームの新築を行い、大きく数字が動きました。ただ着工が遅れ2カ年の事業ですので、全額ではありません。またひかりのさとファームが新事業体系に移行するため、補助金を得て、印刷機を購入しました。宣伝になりますが、今年に

入ってからの愛光園だよりなどは、この印刷機で行ったものです。小規模な印刷から請け負いますので、よろしく願いいたします。

財務活動収支は、建設資金の借入と運転資金の借入により残高が5000万円あまり増加しました。

事業活動収支計算書は、いわゆる損益計算書で、利益が出るかをみる計算書です。

減価償却が制度の変更で、残存価格が取得価格の10%から1円になり、3200万円増加したこともあって、事業活動収支差額は3700万円弱で、一昨年度より6900万円減少しました。事業活動収支差額のこの4年間の推移をまとめたのが11ページ下段の「経営状況推移」です。収入は、平成17年度18年度の単価改正で下がり、19年度少し持ち直しています。一方支出は毎年徐々に増え、特に人件費が増えています。19年度は収入と支出がほぼ同じになっています。そこから借入金の返済を行いますので、資金的に厳しくなっています。

貸借対照表は、数字だけ見ては分かりにくいので、数値を面積に換算して図示しました(11ページ)。単年では変化が分からないので、5年前の平成15年3月31日現在のものも掲載しています。流動資産、特に現預金は大きく増加しました。負債では設備資金の借入金が約半分です。毎年約1億円返済しているため、そのため運転資金が厳しくなってきたという面もあります。設備資金の借入れが減ったのは借入が必要な大きな設備投資が行われてこなかったともいえます。純資産では、次期繰越収支差額大きく増加している。これは経営改善の効果です。このように改善はされてきていますが、例えば、流動資産は流動負債の3倍から5倍あるのが望ましいと言われるので、やっと普通になってきたというくらいです。

決算報告も事業報告と同様に、各事業所に備えて閲覧できますので、事務所にてお問い合わせください。またホームページもご覧ください。アドレスは下記の通りです。

<http://www15.ocn.ne.jp/~aikouen/>

平成19年度 社会福祉⇒人愛光園 資金収支計算書

(自)平成19年4月1日 (至)平成20年3月31日

勘定科目		合計	社会福祉・公益			建設特別会計	
			計	社会福祉事業	公益事業		
経常活動収支	収	介護保険収入	705,665,205	705,665,205	178,380,817	527,284,388	0
		自立支援費収入	740,545,291	740,545,291	740,259,791	285,500	0
		事業収入	256,423,863	256,423,863	203,457,885	52,965,978	0
		経常経費補助金収入	78,366,300	78,366,300	78,366,300	0	0
		寄付金収入	18,127,751	18,127,751	17,346,864	780,887	0
		雑収入	11,096,634	11,096,634	10,917,400	179,234	0
		借入金利息補助金収入	293,000	293,000	293,000	0	0
		受取利息配当金収入	207,399	178,231	138,273	39,958	29,168
		会計単位間繰入金収入	142,977,000	61,767,000	57,759,000	4,008,000	81,210,000
		経理区分間繰入金収入	143,855,355	143,855,355	97,355,355	46,500,000	0
	経常活動収入計	2,097,557,798	2,016,318,630	1,384,274,685	632,043,945	81,239,168	
	支	人件費支出	1,270,993,567	1,270,993,567	915,925,992	355,067,575	0
		事務費支出	196,458,059	196,453,964	112,210,710	84,243,254	4,095
		事業費支出	114,993,462	114,993,462	114,357,960	635,502	0
		医科材料等の仕入支出	50,664,935	50,664,935	0	50,664,935	0
		委託費支出	51,922,627	51,922,627	0	51,922,627	0
		借入金利息支出	19,234,470	19,234,470	1,458,075	17,776,395	0
		会計単位間繰入金支出	142,977,000	142,977,000	140,618,000	2,359,000	0
		経理区分間繰入金支出	143,855,355	143,855,355	97,355,355	46,500,000	0
経常活動支出計		1,991,099,475	1,991,095,380	1,381,926,092	609,169,288	4,095	
経常活動収支差額		106,458,323	25,223,250	2,348,593	22,874,657	81,235,073	
就労支援事業	収	就労支援事業収入	35,561,533	35,561,533	35,561,533	0	0
		就労支援事業収入計	35,561,533	35,561,533	35,561,533	0	0
	支	就労支援事業支出	34,991,795	34,991,795	34,991,795	0	0
		就労支援事業支出計	34,991,795	34,991,795	34,991,795	0	0
	就労支援事業活動収支差額	569,738	569,738	569,738	0	0	
施設整備等収支	収	施設整備等補助金収入	48,784,000	8,269,000	8,269,000	0	40,515,000
		施設整備等寄付金収入	35,300,000	20,000,000	20,000,000	0	15,300,000
		固定資産売却収入	3,000	3,000	3,000	0	0
	施設整備等収入	84,087,000	28,272,000	28,272,000	0	55,815,000	
	支	固定資産取得支出	135,554,239	22,951,745	22,199,655	752,090	112,602,494
		施設整備等支出	135,554,239	22,951,745	22,199,655	752,090	112,602,494
施設整備等収支差額	-51,467,239	5,320,255	6,072,345	-752,090	-56,787,494		
財務活動収支	収	借入金収入	157,500,000	90,000,000	0	90,000,000	67,500,000
		借入金元金償還補助金	2,129,000	2,129,000	2,129,000	0	0
		積立預金取崩収入	53,300,040	53,300,040	53,300,040	0	0
		その他の収入	5,569,108	5,569,108	5,192,458	376,650	0
	財務活動収入計	218,498,148	150,998,148	60,621,498	90,376,650	67,500,000	
	支	借入金元金償還金支出	101,850,000	101,850,000	18,900,000	82,950,000	0
		積立預金積立支出	0	0	0	0	0
		その他の支出	3,505,836	3,505,836	3,086,775	419,061	0
		財務活動支出計	105,355,836	105,355,836	21,986,775	83,369,061	0
財務活動収支差額	113,142,312	45,642,312	38,634,723	7,007,589	67,500,000		
当期資金収支差額合計	168,703,134	76,755,555	47,625,399	29,130,156	91,947,579		
前期末支払資金残高	386,068,270	386,068,270	346,903,925	39,164,345	0		
当期末支払資金残高	554,771,404	462,823,825	394,529,324	68,294,501	91,947,579		

平成19年度 社会福祉⇒人愛光園 事業活動収支計算書

（自）平成19年4月1日 （至）平成20年3月31日

勘定科目		合計	社会福祉公益計			建設特別会計	
			社会福祉事業	公益事業			
事業活動収支	収	介護保険収入	705,665,205	705,665,205	178,380,817	527,284,388	0
		自立支援費収入	740,545,291	740,545,291	740,259,791	285,500	0
		事業収入	256,423,863	256,423,863	203,457,885	52,965,978	0
		経常経費補助金収入	78,366,300	78,366,300	78,366,300	0	0
		寄付金収入	18,127,751	18,127,751	17,346,864	780,887	0
		雑収入	11,096,634	11,096,634	10,917,400	179,234	0
		借入金元金償還補助金収入	2,129,000	2,129,000	2,129,000	0	0
		引当金戻入	4,838,130	4,838,130	4,461,480	376,650	0
		国庫補助金等積立金取崩額	27,331,695	27,331,695	21,923,395	5,408,300	0
	事業活動収入計	1,844,523,869	1,844,523,869	1,257,242,932	587,280,937	0	
	支	人件費	1,270,993,567	1,270,993,567	915,925,992	355,067,575	0
		事務費	196,458,059	196,453,964	112,210,710	84,243,254	4,095
		事業費	114,993,462	114,993,462	114,357,960	635,502	0
		材料費	50,664,935	50,664,935	0	50,664,935	0
		委託費	51,922,627	51,922,627	0	51,922,627	0
		減価償却費	122,512,904	122,512,904	71,545,934	50,966,970	0
徴収不能額		85,603	85,603	53,598	32,005	0	
引当金繰入		0	0	0	0	0	
事業活動支出計		1,807,631,157	1,807,627,062	1,214,094,194	593,532,868	4,095	
事業活動収支差額	36,892,712	36,896,807	43,148,738	-6,251,931	-4,095		
事業活動外収支	収入	借入金利息補助金収入	293,000	293,000	293,000	0	0
		受取利息配当金収入	207,399	178,231	138,273	39,958	29,168
		会計区分間繰入金収入	142,977,000	61,767,000	57,759,000	4,008,000	81,210,000
		経理区分間繰入金収入	143,855,355	143,855,355	97,355,355	46,500,000	0
		事業活動外収入	287,332,754	206,093,586	155,545,628	50,547,958	81,239,168
	支出	借入金利息支出	19,234,470	19,234,470	1,458,075	17,776,395	0
		会計区分間繰入金支出	142,977,000	142,977,000	140,618,000	2,359,000	0
		経理区分間繰入金支出	143,855,355	143,855,355	97,355,355	46,500,000	0
事業活動外支出	306,066,825	306,066,825	239,431,430	66,635,395	0		
事業活動外収支差額	-18,734,071	-99,973,239	-83,885,802	-16,087,437	81,239,168		
経常収支差額	18,158,641	-63,076,432	-40,737,064	-22,339,368	81,235,073		
就労支援事業収	収	就労支援事業収入	35,561,533	35,561,533	35,561,533	0	0
		就労支援事業収入計	35,561,533	35,561,533	35,561,533	0	0
	支	就労支援事業支出	38,943,908	38,943,908	38,943,908	0	0
		就労支援事業支出計	38,943,908	38,943,908	38,943,908	0	0
	就労支援事業活動収支差額	-3,382,375	-3,382,375	-3,382,375	0	0	
特別収支	収入	施設整備等補助金収入	48,784,000	8,269,000	8,269,000	0	40,515,000
		施設整備等寄附金収入	35,300,000	20,000,000	20,000,000	0	15,300,000
		その他特別収入	730,978	730,978	730,978	0	0
		特別収入計	84,814,978	28,999,978	28,999,978	0	55,815,000
	支出	基本金組入額	0	0	0	0	0
		固定資産売却損及び処分損	653,523	653,523	653,520	3	0
		国庫補助金等積立金積立額	8,269,000	8,269,000	8,269,000	0	0
		その他特別支出	3,420,233	3,420,233	3,033,177	387,056	0
特別支出計	12,342,756	12,342,756	11,955,697	387,059	0		
特別収支差額	72,472,222	16,657,222	17,044,281	-387,059	55,815,000		
当期活動収支差額	87,248,488	-49,801,585	-27,075,158	-22,726,427	137,050,073		
繰越活動収支	前期繰越活動収支差額	550,820,069	550,820,069	517,434,772	33,385,297	0	
	当期末繰越活動収支差額	638,068,557	501,018,484	490,359,614	10,658,870	137,050,073	
	基本金取崩額	0	0	0	0	0	
	基本金組入額	0	0	0	0	0	
	その他の積立金取崩額	0	0	0	0	0	
	その他の積立金積立額	0	0	0	0	0	
次期繰越活動収支差額	638,068,557	501,018,484	490,359,614	10,658,870	137,050,073		

貸借対照表

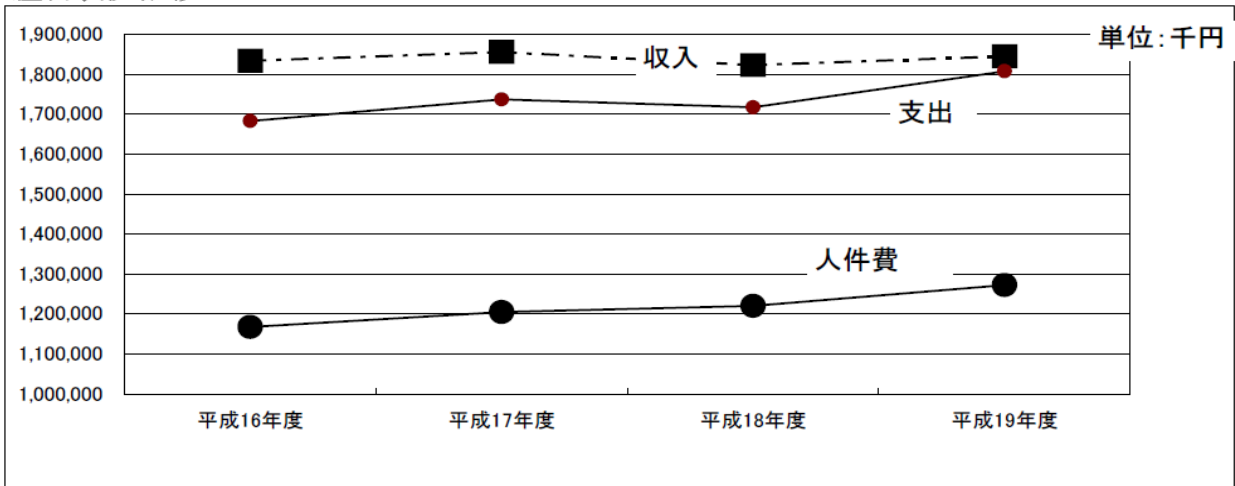
金額を面積換算
平成20年3月31日 現在

単位:百万円
平成15年3月31日 現在

資産の部		負債・純資産	
流動資産 759	現預金 478	流動負債 200	未払い その他
	未収金 259	固定負債 789	設備借入 613
固定資産 2,025	基本財産 838		純資産 1,796
		基本金 748	
	その他の土地建物など 1,187	国庫補助 特別積立 410	
			次期繰越 活動収支 差額 638

資産の部		負債・純資産	
流動資産	現預金	流動負債	未払金
	未収金		
固定資産	基本財産	固定負債	設備借入
	その他の土地建物など		
			基本金
		純資産	国庫補助特別積立
			次期繰越収支差額

経営状況推移



日本財団助成車両 日本財団は、「誰でも安心して地域で暮らせるように」と、15年前から車両助成を行っていらっしゃいます。その数は全国で2万台以上。法人愛光園も毎年のように2台ずつ助成いただき、19年度も、活動センター愛光園とヘルパーステーションリンクに1台ずつ助成いただきました。



愛光園新車

リンクはダイハツのハイゼットスローパーという車椅子対応の軽自動車、愛光園は日産キャラバンチェアキャブという車椅子対応の大きな車です。今回から日本財団では、日本財団が助成した車で、古くなったもののまだ使用できるものを回収してペルーに贈り、提供した事業所の新しい車に助成するという制度を設けました。活動センター愛光園で助成いただいたものはこの制度によるものです。

ペルーにお送りした車は平成8年3月登録の日産キャラバンです。11年間、仲間を乗せて家から愛光園、愛光園から活動場所にと駆け回りました。長い間お疲れ様でした。ペルーでもがんばってください。

本部移転 障がい者活動センター愛光園の移転に伴い、法人事務所の位置も次のとおり変わりました。

旧：大府市共和町7丁目85番地
 新：知多郡東浦町大字緒川字東米田33番3

これに合わせ、これまで実質的な本部機能の事務をひかりのさとのもみの家の事務所で行っていましたが、住所通りの場所で執りおこないます。今後とも宜しくお願い致します。

夏祭り 恒例となりました夏祭り(ひかりのさとの会主催)。今年度活動センター愛光園が移転してきて更にパワーアップ。大道芸などのパフォーマンスも予定しています。盛り上がっていきましょう。

記

日時 8月2日(土) 午後5時～午後8時
 会場 ひかりのさとファーム・活動センター愛光園前広場(駐車場など案内に従ってください)

職員採用試験

来春および今年10月1日採用の正規職員採用試験を、以下のとおり行います。

人のよろこびを我がよろこびとする熱意のある方、是非私たちと一緒に働きましょう。

Y 職種 介護職・支援員・保育士など

Y 法人説明会

日時:7月25日(金)26日(土) 午前10時から12時
 会場:社会福祉法人愛光園 本部会議室
 (〒470-2102 知多郡東浦町緒川東米田33番3
 TEL 0562-83-9835 FAX 0562-83-4344)

Y 一次選考 筆記試験(小論文)、一次面接

日時:8月2日(土) 午前10時から午後4時
 会場:東海市立勤労センター
 (〒477-0037 東海市高横須賀町柘形1番地の7 名鉄尾張横須賀駅から徒歩10分 名鉄太田川駅から徒歩15分 名鉄バス市民体育館下車徒歩3分)

Y 二次選考 当法人施設2カ所にて実習と二次面接(実習は各3日間・8月・9月予定)

Y 応募先

社会福祉法人愛光園 法人本部事務局
 〒470-2102 知多郡東浦町緒川東米田33番3
 TEL 0562-83-9835

応募締めきりは平成20年7月29日(火)とさせていただきます。必要書類など詳しいことは、法人のホームページ(<http://www15.ocn.ne.jp/~aikouen/>)をご覧ください。上記応募先までお問い合わせください。

尚、採用試験は今年度3回予定しており、2回目は10月、3回目は来年2月です。時期が参りましたらホームページその他でご案内させていただきます。

看護師急募で随時ご応募を受け付けています。ぜひご連絡ください。また、ご本人でなくとも、働いていただけそうな看護師さんがいらっしゃるという情報でも結構です。宜しくお願いします。

パート職ご希望の方も各事業所で募集しておりますので、お問い合わせください。

